

## ヴォリュームアキュライザーの活用(15)

### ーアナログシステムへの適用(1)ー

#### 1. 始めに

今回は、アンプのヴォリューム以外の応用としてアナログ系の応用を試していきます。

#### 2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴方法

アナログ再生系の対象として下記を候補にあげました。

##### a)レコードスタビライザー



##### b)バランスアナログアキュライザーBACU-2000

(ZANDEN Model 120 フォノイコライザー入力前)



##### c)アナログアキュライザーAACU-1000 (TruPhase 出力後)



なお、再生ルートは LINN LP-12 のシステムで、TruPhase のヴォリュームと Langevin 6V6pp アンプのヴォリュームには VRA-7 は適用済です。

以上について聴きなれたアナログ盤でざっとテストしたところ下記のような結果が得られました。

- |                            |      |
|----------------------------|------|
| a)レコードスタビライザー              | 効果なし |
| b)バランスアナログアキュライザーBACU-2000 | 効果あり |
| c)アナログアキュライザーAACU-1000     | 効果あり |

そこで、b)と c)に適用することとして、じっくり聴いていくことにしました。試聴したアナログ盤は次のとおりです。

**Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929**

**J.S.Bach Sonatas & Partitas**

**Nathan Milstein**

**ドイツグラモフォン MG9551**

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

**LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)**

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

**Angel (東芝 EMI) AA 9117・C**

ゲオルグ・フドリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

### 3. ヴォリュームアキュライザーの試聴結果

上記の箇所のバランスアナログアキュライザーBACU-2000 とアナログアキュライザーAACU-1000 の適用前の状態は、前報(6)で報告していますが、再度確認後、これらに VRA-7 を追加で貼ります。

J.S.Bach の Sonatas & Partitas は、間接音が豊かになり、ホールトーンが加わったようになります。

選帝侯のソナタは、間接音が豊かになり、ピアノが芳醇な響きになります。

ワルキューレは、オーケストラの音の分離がよくなり、特にティンパニや低弦が明瞭になってきます。

メサイアは、弦楽の滑らかさが向上しますし、通奏低音がより明瞭になります。

#### 4. まとめ

TruPhase のヴォリュームと Langevin 6V6pp アンプのヴォリュームに VRA-7 は適用済でハイレベルに達しているので、上記のバランスアナログアキュライザーBACU-2000 とアナログアキュライザーAACU-1000 の適用は、格段の効果をもたらすほどではありませんが、部分的にさらなる駄目押しのような効果を認めました。

以上